

変更後 NO.2~

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用して故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

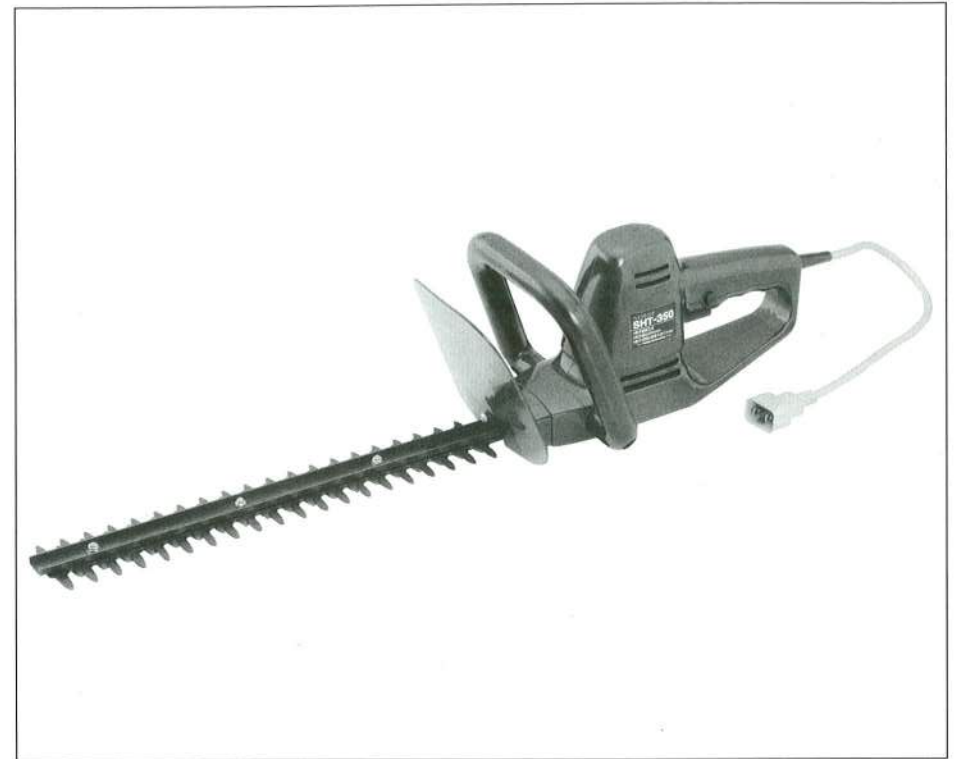
形名	ヘッジトリマ SHT-350		※お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	1年
※お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
※販売店	住所名	店名 ()		

(注) 印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (ニ) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

ヘッジトリマ SHT-350

取扱説明書






このたびはヘッジトリマをお買い上げいただきましてありがとうございます。


ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになった後は、必ず保存してください。


SHINKO 株式会社 新興製作所


〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

注意文の 警告 注意 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意  注 に区別していますが、それぞれの次の意味を表します。

 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 注 : 製品および付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

警告

1. 作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本機に取りつける工具の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2. 作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生することがあります。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、作業場の近くには置かないで下さい。
- 作業場は作業員以外は近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

⚠ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認ください。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地してください。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、本機にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼してください。
- ネジがゆるんでいたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で本機を改造したりしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部(工具の作動部)には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具(のこ刃等)の交換等のときは必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず電源プラグを抜いてください。
- スイッチ、電源プラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
- コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機の能力を超えた無理な作業はしないでください。
- 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5.手入と保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
- 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
- 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くなり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
- 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお客様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

☞前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

ヘッジトリマのご使用上の注意

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、ヘッジトリマとしてさらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を越える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- 作業する箇所に電線などがない事を、作業前に確認してください。電線などがあると、ブレード(刃)が触れ、感電や漏電の恐れがあり、事故の原因になります。
- 使用中は両手で確実に前後のハンドルを保持してください。機体がはね返り、けがの原因になります。
- 付属品のハンドガード、フロントハンドルは必ず取付けてご使用ください。けがの原因になります。
- はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。けがの原因になります。
- 使用中は、ブレード(刃)に手や顔など近づけないでください。また、スイッチを切ってもブレード(刃)は数秒間、惰性で動いていますので注意してください。けがの原因になります。
- 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、または当社に点検・修理を依頼してください。そのまま使用していると、けがの原因になります。
- 誤って落としたり、ぶつけたときは、ブレード(刃)や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。破損や亀裂、変形があるままご使用になりますと、けがの原因になります。
- 雨の中での作業や雨上がり、散水直後のぬれた枝の刈込みはしないでください。感電や漏電の恐れがあり、事故の原因になります。
- 停電、プラグの外れ、ブレーカーが切れるなどにより、モーターが停止したときは、必ずスイッチを切ってください。電源が回復した時に急に始動し、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ブレード(刃)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。また、締め付けが確実にないと、外れたり、けがの原因になります。
- 刈込み作業中、ブレード(刃)を無理に押しつけたりすると、ブレード(刃)が破損することがありますので注意してください。
- 刈込み作業前に、鉄柱、針金、板などの異物、太い枝がないことを確かめてください。ブレード(刃)に当たると、刃こぼれだけでなく反発による思わぬけがの原因になります。
- 作業中は常に手袋、保護めがね、耳栓を使用し、履物は滑りにくいものを着用してください。けがの原因になります。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。機体などを誤って落としたり、事故の原因になります。
- 使用しないときや持運び、部品交換のときは、ブレード(刃)にカバーをし刃物がむきだしにならないようにしてください。けがの原因になります。
- 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちにプラグを電源から抜いてください。感電のおそれがあります。

仕様明細

形 式 名	SHT-350
電 源	100V
周 波 数	50/60Hz
消 費 電 力	300W
消 費 電 流	3.2A
ス ト ロ ー ク 数	1,700min ⁻¹ (回/分)
ブレード可動方式	両刃駆動方式
刈 込 巾	350mm
最 大 切 断 径	新芽10mm(約)
機 体 寸 法	695(長さ)×70(幅)×160(高さ)mm
質 量	2.1kg
コ ー ド の 長 さ	300mm
絶 縁 方 式	二重絶縁

※本機は改良のため、予告なしに仕様を変更することがあります。

用 途

- 生け垣、植込みの刈込み、庭木のトリミング

部品の名称

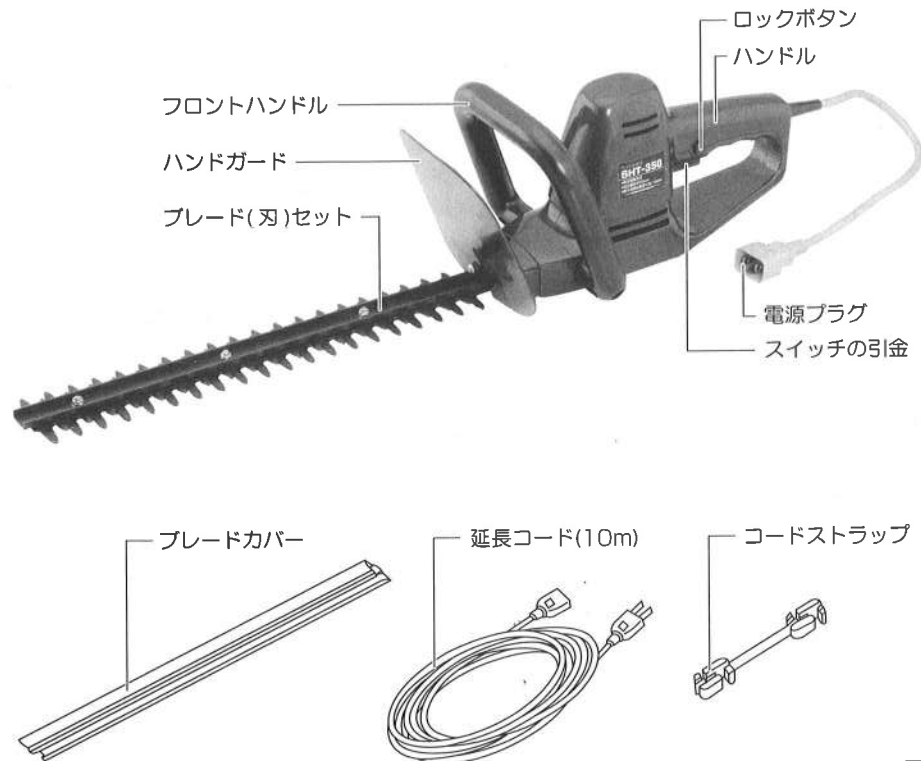


図1

付属部品の明細

部品名	数量	部品名	数量	用途
ハンドガード	1	コードストラップ	1	電源コードのプラグと延長コードの固定
フロントハンドル	1	小ネジ	1	ハンドガード固定(本体に取付)
ブレードカバー	1	平座金	1	
延長コード(10m)	1	スプリング座金	1	フロントハンドル固定(取扱説明書の袋の中)
六角レンチ	1	六角穴付ネジ	2	
		平座金	2	
		スプリング座金	2	

使用方法

■スイッチの使い方

⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を越える電圧でご使用になりますと回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

- スイッチは引金を引くと入り、はなすと切れます。
- スイッチの引金を引きながらロックボタンを押すと引金をはなしてもスイッチは入った状態となります。再度、引金を引くとロックボタンが解除され、スイッチは切れます。(図2参照)



図2

■ハンドガード、フロントハンドルの取付

⚠ 警告

- 付属品のハンドガード、フロントハンドルは必ず取付けてご使用ください。けがの原因になります。

■ハンドガードの取付

- ハンドガードの取付ネジ5Mと平座金、スプリング座金は本機に取付けてありますので抜き取ってください。
- 本機の溝に付属のハンドガードを差し込み、小ネジ、スプリング座金、平座金で確実に締め付けてください。(図3参照)



図3

■フロントハンドルの取付

- フロントハンドルの取付ネジ(六角穴付)5Mと平座金、スプリング座金は取扱説明書の袋の中に入っています。
- 本機の溝に付属のフロントハンドルを差し込み、六角穴付ネジ5Mとスプリング座金、平座金で確実に締め付けてください。(図3参照)

ブレードの交換

⚠ 警告

- ブレード(刃)交換の前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いてください。接続したままですと、不意な始動によるけがの原因になります。
- ブレード(刃)は取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと外れたり、けがの原因になります。

■ブレード(刃)の取はずし

- ブレード(刃)は、保持板上刃と下刃をネジでセットしてあります。(図5参照)
- 本機下部の空気窓(図2参照)に木棒などファンを傷めないように差し込んでファンを軽く回してください。
- ブレード(刃)ガイド穴を見て上刃、下刃の穴を正確に揃えてください。(図4参照)
- ブレード固定板取付ネジ(4本)を抜き取るとブレード固定板を取りはずせます。(図4参照)

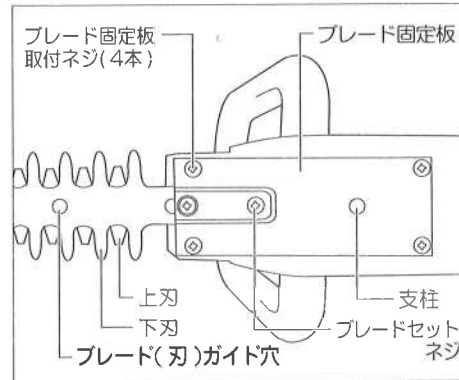


図4

- ④ ブレードセットネジはブレード(刃)と固定板を止めるためのネジです。ゆるめないでください。

■ブレード(刃)の取付け

- 上刃、下刃のブレード(刃)ガイド穴を揃えてください。(図5参照)
- 支柱受穴を偏心板受穴の中心になるようにしてください。(図5参照)
- 本機の偏心板を手で回して図6の位置に合せてください。
- ブレード固定板の支柱受穴を、本機の支柱に合せ4本の固定ネジで確実に締めつけてください。

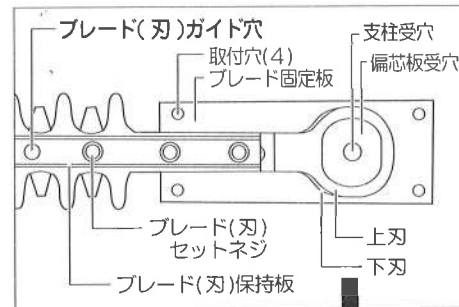


図5

- ⑤ 取付け前に、偏心板やギヤ部にグリスを塗ってください。

- ⑥ ブレード(刃)には、機械油などの粘度の低い油を塗布してください。

- ⑦ ブレード(刃)、ブレード固定板が確実に締まっていることを確認してください。

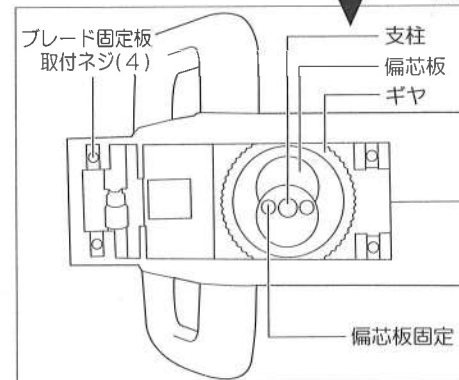


図6

電源コードの接続とコードストラップのセット方法

⚠ 警告

- 電源コードを接続する前にスイッチが切れている事、延長コードが電源コンセントに接続されていない事を確認してください。

- 電源コードと延長コードを接続するときは、付属のコードストラップに通し、接続部が簡単に抜けないようにしてください。(図7参照)
- 電源コードと延長コードの接続は余裕を持たせてください。(図7参照)
- 接続部を確実に接続してから、延長コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。

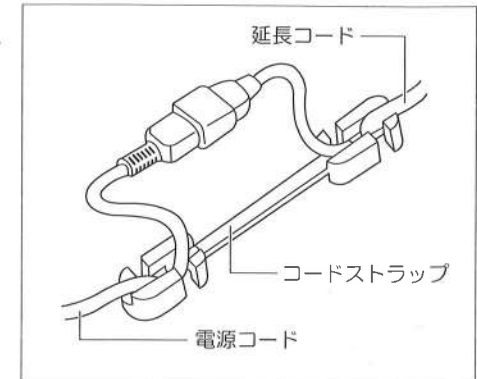


図7

延長コードについて

- 電源が離れていて延長コードが必要なときは、最高の効率でご使用いただくために、十分な太さのコードを、できるだけ短くご使用ください。
- ⑧ ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべて引き出してご使用ください。

刈込み作業について

⚠ 警告

- 使用中は、両手で確実に前後のハンドルを保持してください。確実に保持しないと、思わぬけがの原因になります。
- 無理な姿勢での作業はしないでください。常に足場をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- 使用中は、ブレード(刃)に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。万一、異物や太い枝をかみ込んだときは、直ちにスイッチを切り、プラグを抜いた後、異物などを取除いてください。
- 雨の中での作業や雨上がり、散水直後のぬれた枝の刈込みはしないでください。感電や漏電の恐れがあり、大変危険です。

⚠ 注意

- ブレード(刃)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと外れたり、けがの原因になります。
- 刈込み作業前に、鉄柱、針金、板などの異物や太い枝などが無いことを確認してください。ブレード(刃)に当たると、刃こぼれだけでなく反発による思わぬけがの原因になります。
- 炎天下での作業はできる限り避けてください。炎天下での作業では暑さ対策を十分にし、体調に注意してください。
- 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちにプラグを電源から抜いてください。感電の原因になります。
- 高所作業では、下に人がいないことをよく確かめてください。機体などを落としたとき、事故の原因になります。

Ⓔ 本機の切断能力は、新芽で最大径10mmです。太い枝は刈込み前に、ノコギリや剪定ハサミで刈込み位置から50mm位低くなるように切っておいてください。

Ⓕ 作業前と作業中は1時間に1回程度、ブレード(刃)に注油(マシン油、機械油など)してください。

Ⓖ 作業途中(休憩時など)に、本機を直射日光の当たる場所、高温になる場所に放置しないでください。モーターの冷却が十分に行われず、モーター焼付けの原因になります。

Ⓖ モーターがロックしたり、回転が落ちるような使い方は、モーター焼き付けの原因になります。負荷のかけ過ぎに注意して使用してください。

■生け垣の刈込み方法

- 刈込みを行う場合、刈込み方向(ブレード(刃)の進行方向)に対して刃先を少し下げてください。枝の導入が良く、きれいに刈込めます。
- 機械の切断能力より早く送りますと、枝が曲がって導入され、高さが不揃いになります。
- 上面を刈るときは、一方向からだけでなく、立つ位置を変えて、いろいろな方向から刈るときれいに仕上がります。
- 高さを一定に揃えるには、タコ糸や水引き糸などを水平に張り、その高さに沿って刈るときれいに仕上がります。
- 側面を刈るときは、下から上に向かって刈りますと、きれいに仕上がります。

保守点検について

⚠ 警告

- 保守、点検、部品などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によりけがの原因になります。

⚠ 注意

- ブレード(刃)の取扱には、十分注意してください。けがの原因になります。

■使用後の本機の手入れについて

- ブレード(刃)は硬めのブラシで表裏面ともきれいに汚れを落とした後、機械油などの粘度の低い油を十分に塗ってください。
- 本体は、乾いた布・石けん水をつけた布などでふきとり、汚れを落としてください。
- Ⓔ ガソリン、シンナー、石油などでの清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

- 針金などをかみ込んでブレード(刃)にかえりが出るなど傷ついたときは、ヤスリなどで修正するか、新しいブレード(刃)セットと交換してください。

- 研磨は、ブレード(刃)側面とすり合わせ面との角が丸くならないように注意して、上刃の両側面を研磨してください。(図8参照)

Ⓔ すり合わせ面は研磨しないでください。

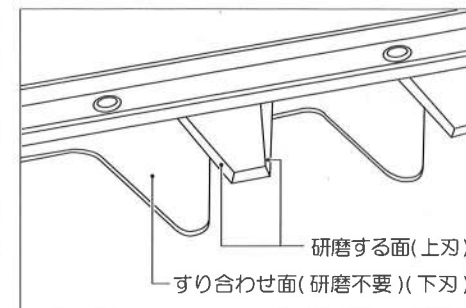


図8

■本機の点検について

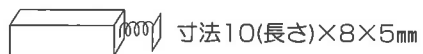
- 各部取付ネジにゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合には締め直してください。

■作業後の保管について

- 作業後は、ブレード(刃)がむきだしにならないようにブレードカバーを取付けてください。
- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手のとどかない、落下の恐れのない安全な場所に保管してください。

■カーボンブラシについて

- 本機はカーボンブラシを使用しています。



- カーボンブラシは消耗品です。摩耗で短くなりましたら新品と交換してください。
(参考)総作業時間で約80時間が目安です。

⊕短くなったカーボンブラシをそのまま使用されますと、モーターを傷め、故障の原因になります。

- カーボンブラシの交換は、本機フレームのネジを抜き取りますと、フレームはずれます。
- カーボンブラシケースを引き上げますと、カーボンブラシが抜けます。

■修理について

- 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、または当社までお問い合わせください。
- 部品の交換、修理等については、お買上げの販売店、または当社にお問い合わせください。